

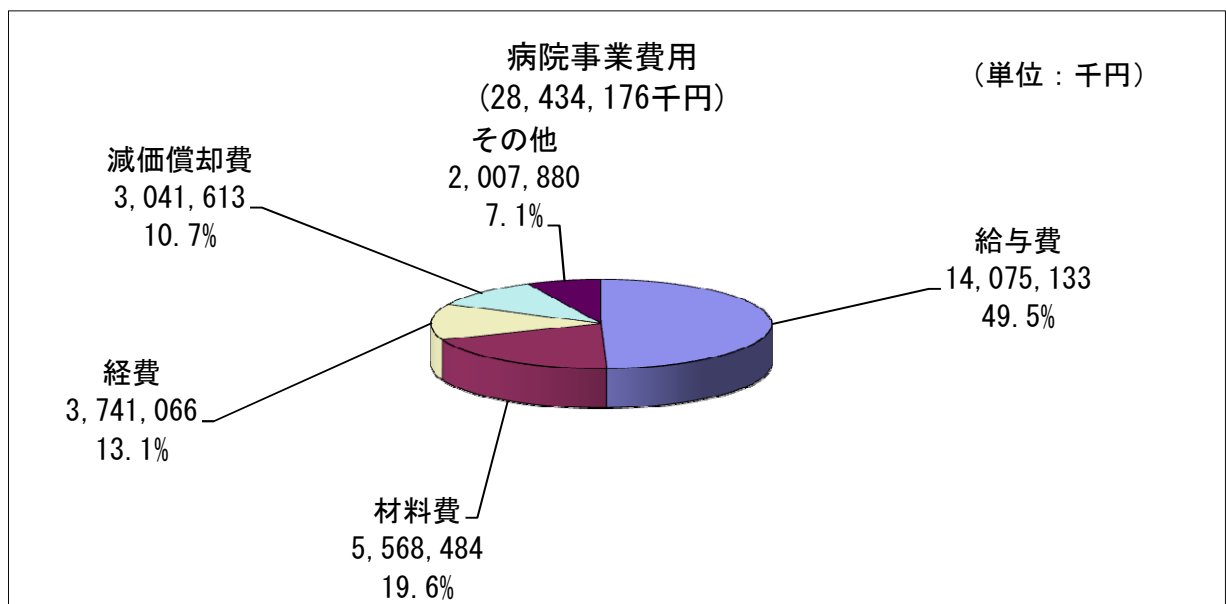
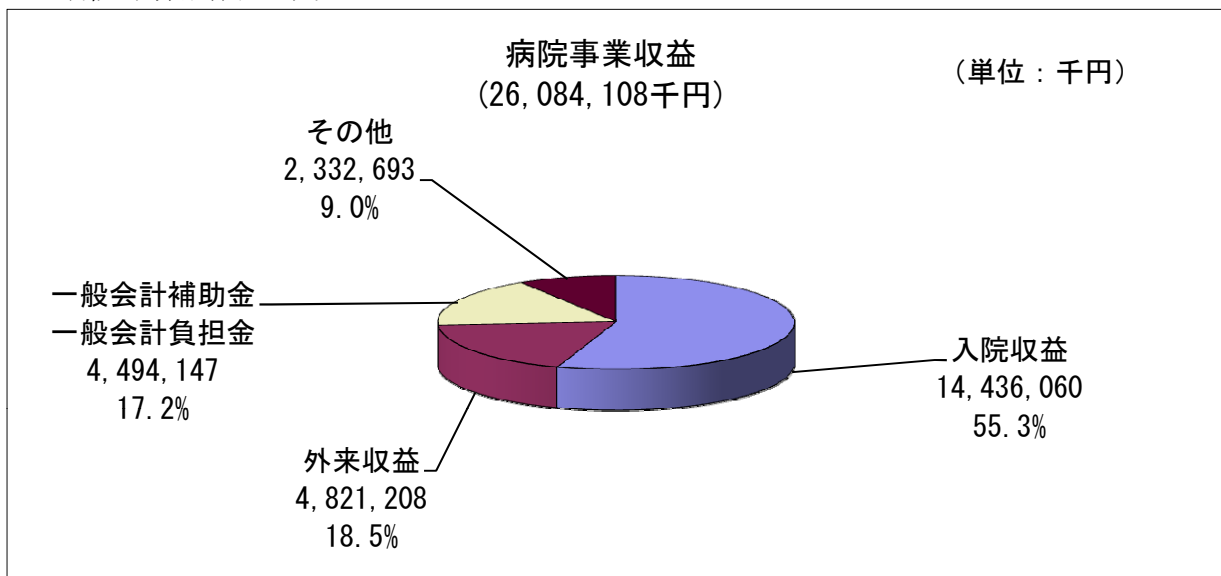
名古屋市病院局 平成23年度決算の概要

名古屋市病院事業は、東部医療センターをはじめ4市立病院を設置し、市民の皆様に医療の提供を行ってまいりました。平成23年度につきましても医師・看護師不足の影響等により大変厳しい状況でありましたが、平成23年5月にクオリティライフ21城北内に新築移転した西部医療センターが運営を開始したことや、東部医療センターにおける救急医療等の充実に伴い、前年度と比較して入院患者数は5.4%の増となりました。一方、外来患者数は前年度と比較して1.7%の減となりました。

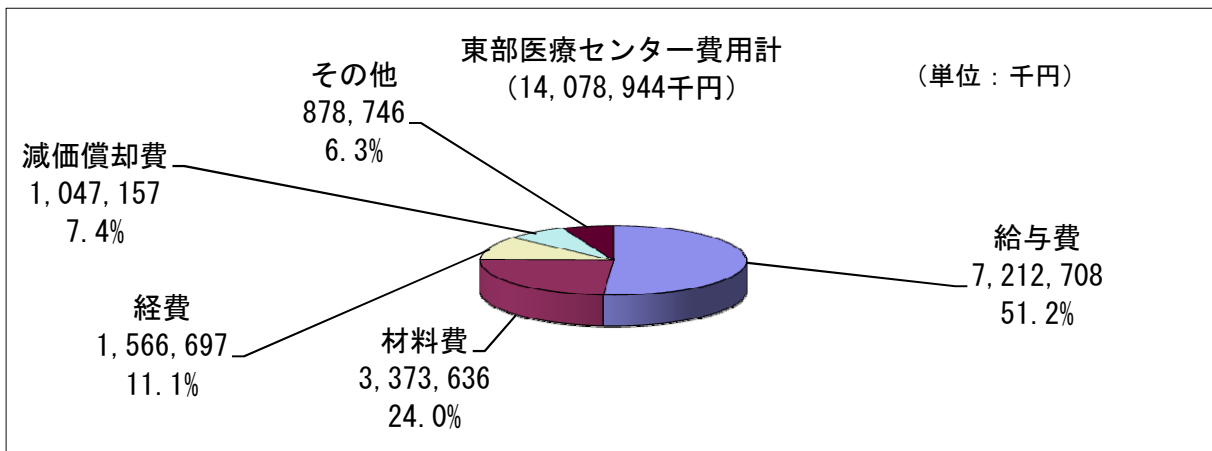
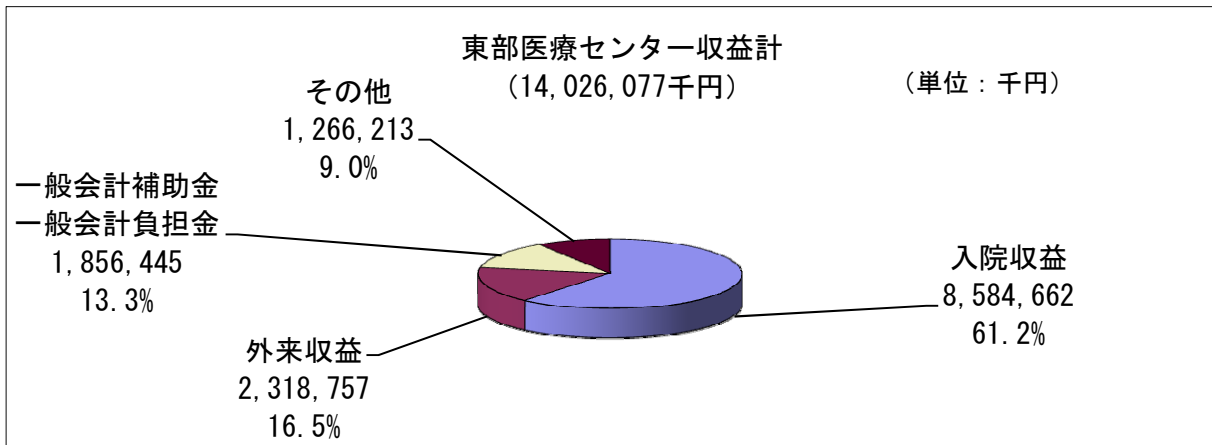
平成23年度における病院事業の収益的収支は、総事業収益は260億8千4百万円余であるのに対し、総事業費用は284億3千4百万円余でした。当年度純損失は23億5千万円余であり、当年度未処理欠損金は204億3千6百万円余となっています。

平成23年度は主な建設改良事業として、東部医療センターにおける救急・外来棟改築の実施設計や指定管理者制度の導入に向けた緑市民病院における病棟改修をはじめとする院内環境等整備工事を行ったほか、東部医療センターの磁気共鳴断層診断装置をはじめとする各病院の診療機器の設備充実に努めました。

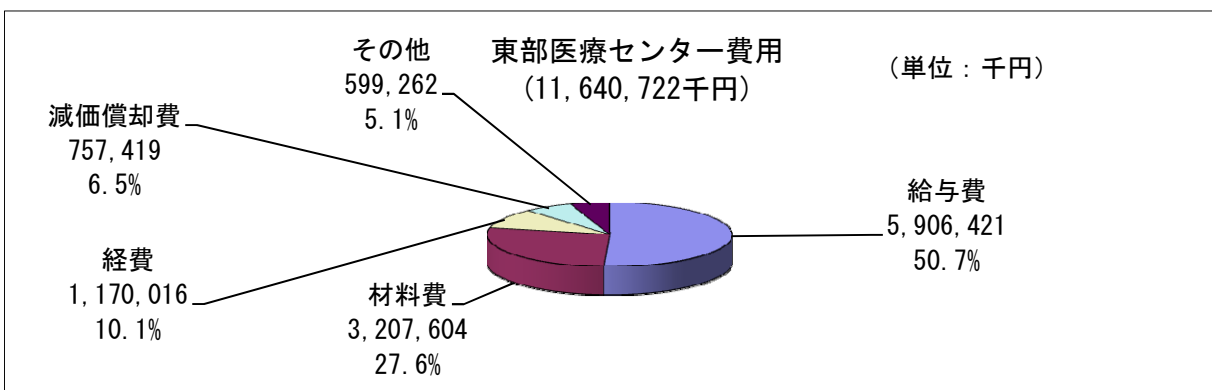
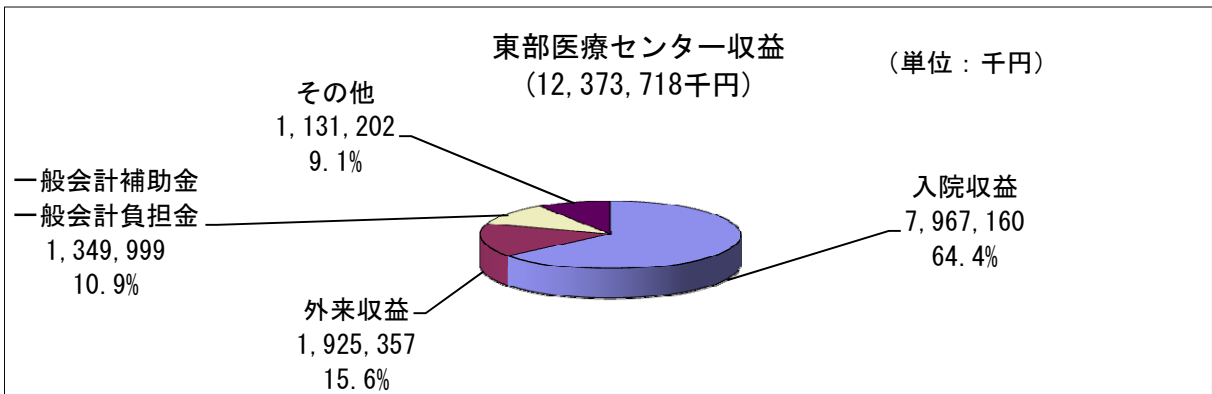
1 病院事業会計の収支



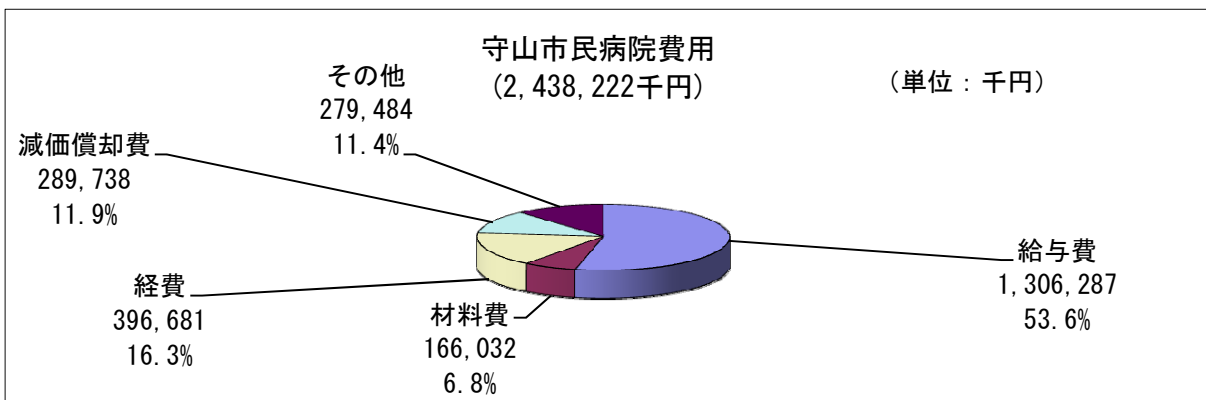
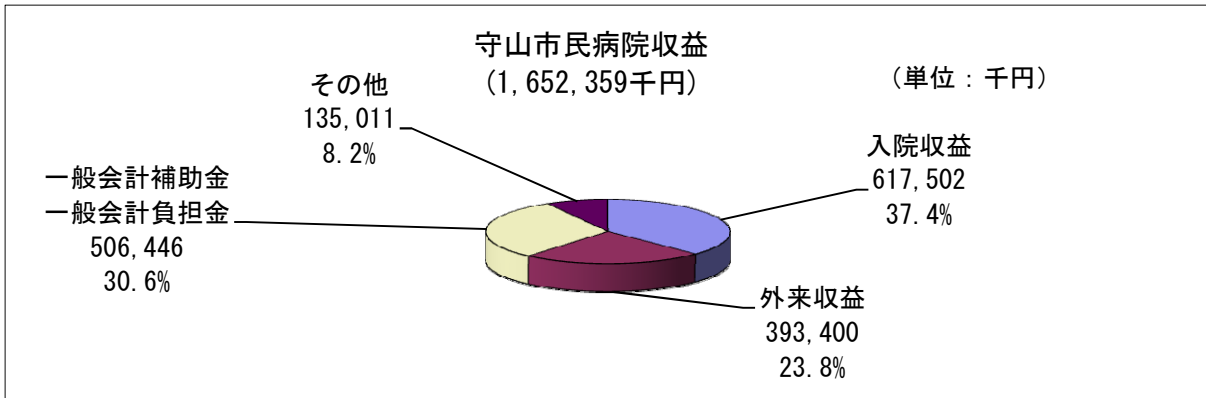
(1) 東部医療センター計



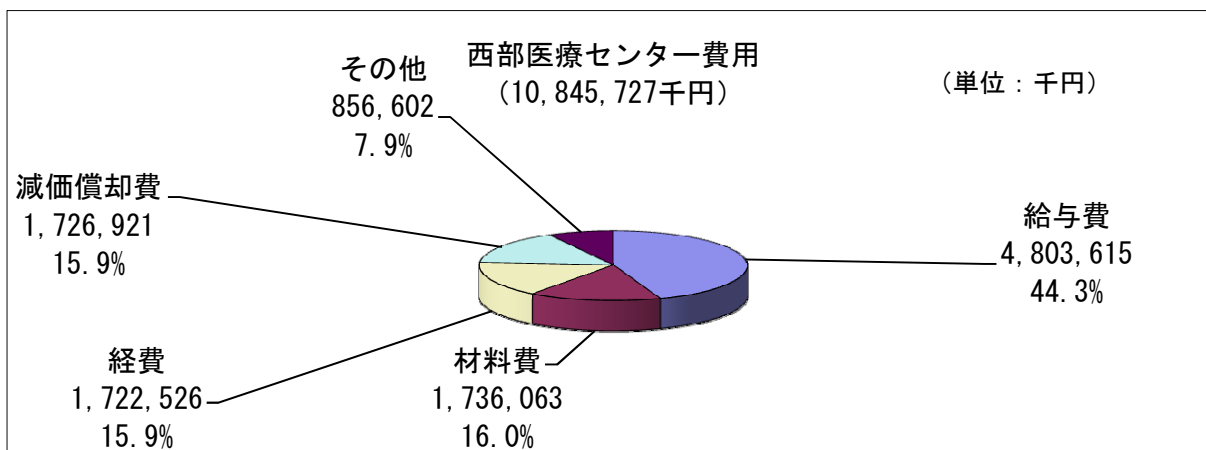
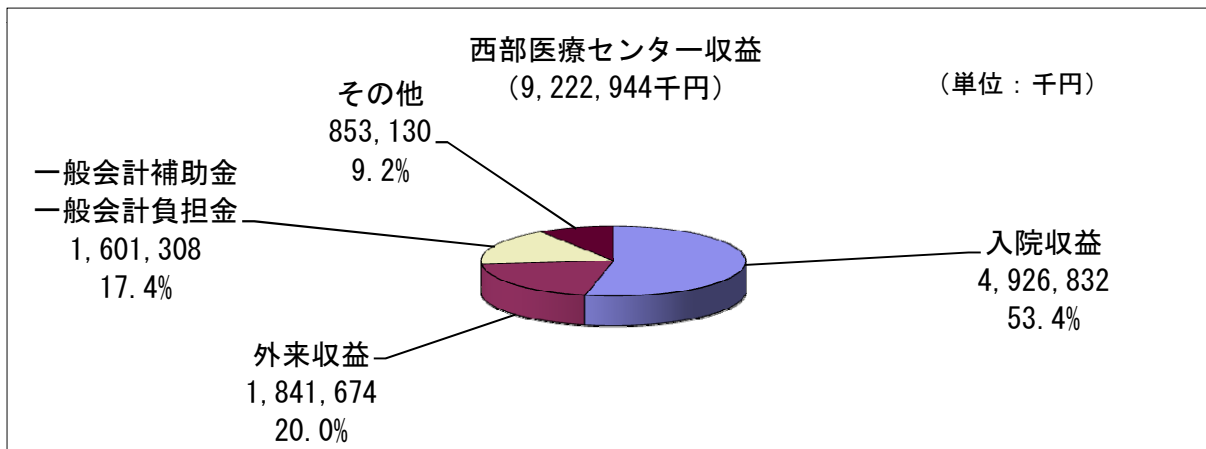
① 東部医療センター



② 守山市民病院



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

